

平成 26 年度第 1 回

登録タイル張り基幹技能者認定試験問題 (60 分)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 25 題(四者択一法)

3. 注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開けないでください。
- ② 受験番号と氏名は、問題用紙および、解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- ③ 本冊子は表紙を含め 10 頁です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などあった場合は、黙って手を上げて申し出てください。
- ④ 本冊子の持ち帰りは禁止です。解答用紙と共に提出してください。
- ⑤ 解答の方法は次のとおりです。
 - イ. 正解と思うものを(1~4、またはイ~二)の中から 1 つだけ選び、解答用紙の解答欄にその番号または記号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ロ. 解答を訂正する場合は、訂正する解答を、消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
- ⑥ 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能、その他これと同様の機能を有するものは使用してはいけません。
- ⑦ 試験開始後 30 分までの遅刻は受験することができます。ただし、解答できる時間はこの試験終了予定時刻までです。
- ⑧ 試験中質問があるときは、黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方に関する質問にはお答えできません。
- ⑨ 試験終了予定時刻前に解答が出来上がった場合は黙って手を上げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始から 30 分以内の場合は退出できないので、静かに着席しててください。
- ⑩ 係員の試験開始の合図で始めてください。

(一社)日本タイル煉瓦工事工業会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

【4者択一、最も不適当なものはどれか。】

問題1. 登録基幹技能者に求められる役割について、最も不適当なものはどれか。

1. 一般の技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有する。
2. 出来上がりの点検、工事の是正ができる。
3. 未熟練の作業者をレベルアップさせるOJTを行う能力を有する。
4. 自工程のみを優先した、他の職長への連絡・調整をする。

問題2. 登録基幹技能者に必要な資質として最も不適当なものはどれか。

1. リーダーとして大切なことは信頼だが、それは約束を守ることから得られる。
2. 理屈を言い立てるよりも、まず勇気を出して実行するほうが説得力は大きい。
3. 体が弱くても強力なリーダーシップはとれる。
4. 仕事に信念を持ち、決断力を養ってこそ人はついてくる。

問題3. 登録基幹技能者の、現場における役割で、最も不適当なものはどれか。

1. 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整をする。
2. 他業種の技能者に対する施工に係る指示、指導をする。
3. 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成を行う。
4. 前工程、後工程に配慮した他の職長との連絡、調整を行う。

問題4. 登録タイル張り基幹技能者を受講するための要件として、最も不適当なものはどれか。

1. 10年以上のタイル工事の実務経験がある者。
2. 3年以上の職長経験がある者。
3. 職業訓練指導員免許の資格を有する者。
4. 1級タイル張り技能士の資格を有する者。

問題5. OJTの指導方法の例で最も不適当なものはどれか。

1. 部下の側に叱る原因があることをよく見定めることが必要である。
2. 奨励型の語りかけは積極的人間をつくることができる。
3. 奨励型を発展させれば仕事のヒントが語れることがある。
4. メンバーの前ではめると、他のメンバーに悪い影響をあたえる。

問題6. OJT教育で最も不適当なものはどれか。

1. OJT教育は日常の仕事をはなれて、指導、教育を行う。
2. 継続的に日常的に実施していることが、業績低下の言い訳になってはならない。
3. 上司の能力レベルから目標を定めるのではなく、部下の能力レベルに合わせた目標を立てる。
4. 部下が組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大する機会を設けるように心がけることが望まれる。

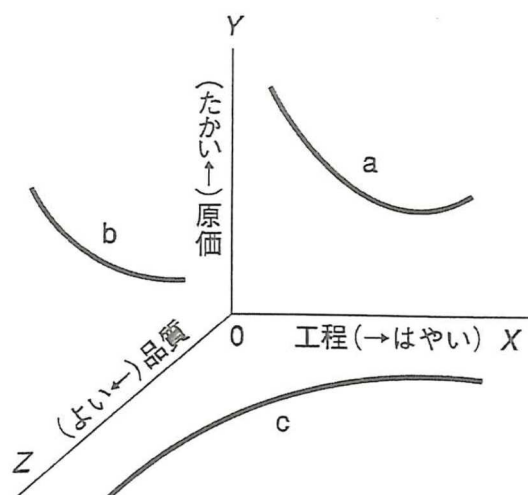
問題7. 建設工事が、他の一般製造業と異なる点について最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事は、目的物が土地に固着して作られることから、互換性がなく、不良なものの処置がしにくい。
2. 降雨、出水、土質など天候、自然現象の不確定な要素に左右される。
3. 建設工事は、受注生産で個々の工事は異なったものであり、大量見込生産ができない。
4. 過去の経験や実績による施工はまったく行われていない。

問題8. 施工管理について最も不適当なものはどれか。

1. 施工管理とは、目的物を決められた予算内で、決められた工期内に、要求される形状や品質のものを築造するための施工に関する管理の総称を言う。
2. 施工管理の目的は、(より良く)、(より早く)、(より安く)の三要素に集約することができる。
3. 施工管理の3要素とは、品質管理、工程管理、生産管理である。
4. 施工管理は、安全の確保、環境保全への配慮といった社会的要件の制約の中で施工計画に基づき工事の円滑な実施を図る必要がある。

問題9. 工程、原価、品質の一般的関係についての図表の記述について、最も不適当なものはどれか。

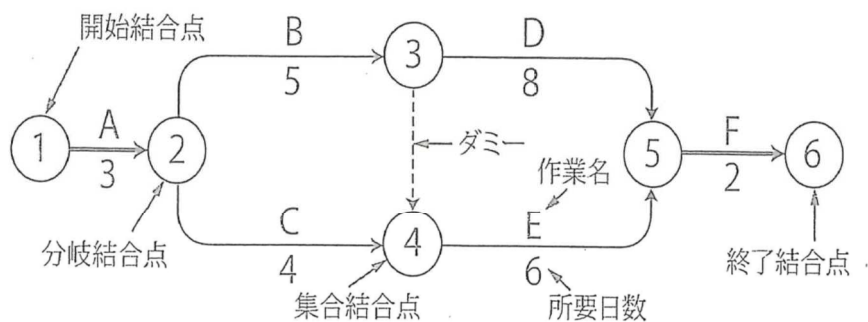


1. 施工管理の中で、工事の品質、工期、及び経済性を確保するための品質管理、工程管理原価管理の3つの三大管理は、各々独立したものでなく、工事経営の一つの枠内で相互に関連している。
2. a 曲線は、施工速度を上げると、単位時間当たりの出来高が増え、原価は安くなりますが、施工を速めて突貫工事となるとさらに原価は安くなることを示す。
3. b 曲線は、品質の悪いものは安くできるが、品質をよくすると原価が高くなることを示す。
4. c 曲線は、品質の良いものは一般に時間がかかり施工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がります。

問題10. 安全管理計画において最も不適当なものはどれか。

1. 現場事故は個人による不注意、現場安全管理の問題もあるが、いずれの場合も事故はおこるべくしておきるもので、安全管理を徹底していれば防ぐことはできる。
2. 危険な場所での作業より、安全な場所での作業のほうが、早くより高品質なものができるので、間接的に工事の出来高、品質に関係するものである。
3. ハインリッヒの法則によると、1件の重大災害が発生する背景には、29件の軽微な事故と300件の「ヒヤリ」、「ハット」した怪我や事故に至らなかった事例があるとされている。
4. 現場の技能労働者より、安全管理計画、仮設計画にかかわった元請の監督のほうが、危険箇所は知っているので、その指示で安全管理を行う。

問題 1 1. 下記ネットワーク例題の記述について最も不適当なものはどれか。



ネットワーク例題

1. ④の最早開始時刻(E S T)は8である。
2. ⑤の最早開始時刻 (E S T) は13である。
3. ⑤の最遅終了時刻 (L F T) は16である。
4. クリティカルパスは18である。

問題 1 2. 工程計画における記述について、最も不適当なものはどれか。

1. 工程計画は施工計画の中で最も重要な根幹的計画であり、工事の品質は各工程において作りこまれ、工事の原価も各工程において生じる。したがって、工程計画の適否が工事の良否を決定します。
2. 作業可能日数は工事量を1日平均施工量で割り出すもので、暦日による日数から定休日、天候その他に基づく作業不可能日数を差し引かず推定する。
3. 市街地、または付近に人家の存在する場所で、振動・騒音を発生する工事の場合は、工事の時間帯、期間が限られる場合があるので事前に十分な調査の必要がある。
4. 自然条件が作業可能日数に与える影響のうち最も大きいものは天候の影響であり、その能率に対して支配的影響を与えるものは土の含水比である。

問題 1 3. 原価管理における建設工事の原価について、最も不適当なものはどれか。

1. 予定価格、入札価格、実行予算は仮の原価（事前原価）である。
2. 入札価格とは、元請建設会社みずからが最初に行う原価予測で「元積もり」ともいうが、予定価格を意識しつつ工事の競争状況などを勘案して決めるが、これには通常、ゼネコンの利益見込み分が含まれていない。
3. 請負金額から一般管理費（元請として確保したい経費・利益）を差し引き、現場にわたされるのが実行予算である。
4. 入札価格、実行予算、事後原価は、元請ゼネコンの内部的なものであり、部外者にはわからない性格のものである。

問題 1 4 サブコンの原価管理について、最も不適当なものはどれか。

1. サブコンは、提示された金額をベースに実行予算をたてるが、作業者に支払う賃金以外の法定福利費（社会保険料）や必要経費などは確保しなくてもよい。
2. サブコンの積算の原価要素は、材料費、労務費、経費の三つの原価要素ごとの積みあげ計算が基本となる。
3. 設計数量とは、設計図書から求めた正味の個数、長さ、面積、体積等の数値である。
4. 所要数量とは、切りムダ、重ねしろ、その他施工上やむをえないロスを考慮した実際に必要な数量である。

問題 1 5. 工事原価を決める諸条件に関する記述の中で、最も不適当なものはどれか。

1. 発注者側からの業者指定がある場合、購買価格は無指定に比べて割高になる。
2. 発注者側の監理姿勢が原価に反映する。
3. 作業性の難易、施工施設の良否、立地、運搬距離などが絡む。
4. 急施工（突貫工事）は予想外に原価が下がる。

問題 16. タイル張りの品質性能についての次の記述について、最も不適当なものはどれか。

1. プロセス検査は、日常的な施工品質を確保するために必要な項目について実施するが、原則として専門業者が行い、必要に応じて施工者が立ち会い現地で現物を確認する。
2. 外装接着張りのプロセス検査では、タイルと接着剤との接着状態が施工の良否の重要な判定材料になるため、検査方法として、タイルを張り付けた直後にタイルをはがし、タイルと接着剤の状況を確認する。この時タイルの裏面への接着率は60%以上とする。
3. 施工後2週間以上経過した時点で、引張試験器を用いて引張接着強度を測定する。測定結果が 0.4N/mm^2 、かつコンクリート下地の接着界面における破壊率が50%以下の場合を合格とする。
4. タイル張り仕上げは、美装性、躯体保護およびメンテナンス性といった性能を建築物の各部位に付与することを最優先し、そのうえで、はく落の危険を防止する性能を確保する。

問題 17. 特定元方事業者は、建設現場で働く作業員の労働災害を防止するために、統括管理しなければならない事項に関して最も不適当なものはどれか。

1. 安全衛生協議会(災害防止協議会)の設置・運営。
2. 朝礼、毎日の作業打合せ等で、元請業者と下請業者、または下請行者間の調整。
3. 週一度の作業場所の巡視。
4. 関係請負人が行う作業員の安全衛生教育に対する指導・援助。

問題 18. 建設業における安全衛生管理体制について、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の場合、労働者が常時100人以上の事業場では、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
2. 建設業の場合、労働者が常時50人以上100人未満の事業場では、安全管理者、衛生管理者および産業医を選ばなければならない。
3. 建設業の場合、労働者が常時10人以上50人未満の事業場では、安全衛生推進者を選ばなければならない。
4. 建設業の場合、労働者が常時1~9人の事業場では衛生管理者を選ばなければならない。

問題 19. 見積条件の提示（建設業法第 20 条第 3 項）に関する次の記述の中で、その内容が最も不適当なものはどれか。

1. 元請負人が不明確な工事内容を提示し、下請負人に見積りを行わせた場合、建設業法第 20 条第 3 項に違反するおそれがある。
2. 元請負人が曖昧な工事内容を示し、下請負人に見積りを行わせた場合、建設業法第 20 条第 3 項に違反するおそれがある。
3. 元請負人が下請負人から見積条件に関する質問を受けた際、元請負人が未回答あるいは曖昧な回答をした場合、建設業法第 20 条第 3 項に違反するおそれがある。
4. 元請負人は予定価格が 700 万円の下請契約を締結する際、見積期間を 10 日として下請負人に見積りを行わせた場合、建設業法第 20 条第 3 項に違反するおそれがある。

問題 20. 当初契約（建設業法第 18 条、第 19 条第 1 項、第 19 条の 3）による書面契約で、次の記述の中で、その内容が最も不適当なものはどれか。

1. 契約は工事金額が低い場合、下請工事の着工前に書面により行う必要がない。
2. 書面契約には建設業法で定める一定事項を記載することが必要である。
3. 注文書・請書による契約は一定の要件を満たすことが必要である。
4. 書面契約に代えてCI-NET等による電子契約も認められる。

【4者択一方式、最も適当なものはどれか。】

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

() 内に最も適当なものを選択し以下の文章を完成させよ。

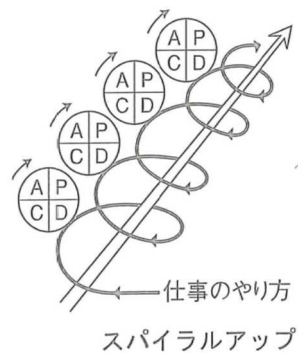
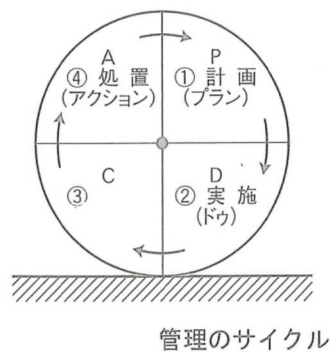
問題 2 1. 登録基幹技能者は現場の状況に応じた施工方法の提案、() を行う役割を期待されている。

- イ. 調整 ロ. 通達 ハ. 確保 ニ. 活用

問題 2 2. 建設工事は屋外作業が多いため、作業可能日数は現地の地形、地質、() 等の自然条件を十分に調査し、対象工事の技術的特性を考えて算定しなければならない。

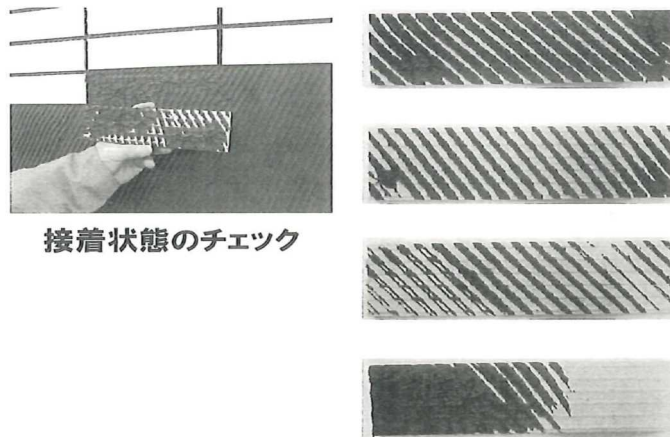
- イ. 地震 ロ. 気象 ハ. 水位 ニ. 騒音

問題 2 3. P・D・C・A サイクルとは P プラン（計画をたて）、D ドウ（実行し）、C. ()、A アクション（処置・修正）することを繰り返しながら作業を進めていくことである。



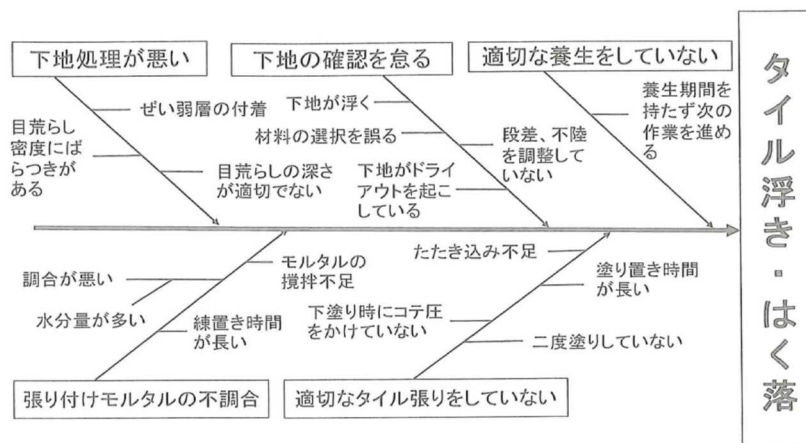
- イ. コントロール（調整し） ロ. カウント（数えて） ハ. チェック（検討し） ニ. クリア（目標を達成し）

問題 2 4. 有機系接着剤による外装接着剤張りでは、タイルと接着剤との接着状態が施工の良否の重要な判断材料となるが、検査方法として、タイルを張り付けた直後にタイルをはがし、そのタイル裏面への接着剤の接着率が（ ）%以上、かつ、タイル全面に均等に接着しているものを合格とする。



イ、40 ロ、50 ハ、60、 ニ、70

問題 2 5. 下記の図はタイル張りの品質管理に取り込むための「QCの7つ道具」の一つですが（ ）というものです。



イ. チェックシート ロ. パレート図 ハ. 散布図 ニ. 特性要因図